

●日本小児歯科学会九州地方会主催 研修会●

『スペシャルニーズのある 子供の歯科』



『歯科治療が苦手な子供たちへの対応』

■九州歯科大学 口腔機能発達分野 講師／森川 和政

日常臨床において歯科医院への来院や受診を嫌がる子どもたちをよく見かけます。その原因として、患児が低年齢であること、過去の歯科治療で恐怖経験があること、からだや心の発達の遅れがあることなどが考えられます。

当科では、そのような歯科治療が苦手な子どもたちに対して、その患児の歯科治療に対する受け入れ状態から、治療方法を行動療法的アプローチと薬理学的アプローチに分類しております。行動療法的アプローチでは行動変容法や構造化プログラムを応用し、薬理学的アプローチでは受容が可能であるならば笑気吸入鎮静法で、受容が困難で治療時間が短い場合は静脈内鎮静法で、治療時間が長い場合には全身麻酔法で、また選択した方法でうまくいかない場合には上位のアプローチへ変更するように、初診時において保護者・患児に情報を提供しております。今回、それぞれの方法について歯科麻酔医との連携も含めご紹介したいと考えております。

『小児歯科における摂食嚥下リハビリテーション』

■鹿児島大学 発達系歯科センター 講師／佐藤 秀夫

「食べる」ことは生きることそのものです。赤ちゃんはヒトとして生まれ、人間へと成長発育するなかで、食べる機能を獲得していきます。しかしながら、先天的な疾患や障害、未熟性、形態異常、精神発達遅滞を伴う場合は、摂食嚥下障害を伴う場合があり、生活の質や生命予後が不良になることが見受けられます。さらには、子どもの場合は機能獲得期であることや、コミュニケーション面での難しさから、小児期における摂食嚥下リハビリテーションが困難な理由となっています。私は歯科医師として、小児の口腔機能の発達と形態発育を主眼におきながら、口腔のトータルケアとして、摂食指導をおこなっております。さらに、小児の身体発育状況または生活環境への配慮や養育者への支援を目的として、多くの専門職との連携を大切にしています。小児歯科医として、障がいを持つ方への摂食指導の意義と職種連携の大切さについてお伝えしたいと考えております。

《2016年》

日時

3月13日 日 10:00~12:45

場所

大分県歯科医師会館3F大ホール
大分市王子新町6番1号 TEL.097-545-3151
日本小児歯科学会専門医認定委員会公認講習会5単位

参加
対象

歯科医師以外の方を含め、どなたでも参加できます
参加費無料

※事前登録も必要ありません

【連絡先】 きふね小児歯科 木船敏郎 TEL:097-503-1186

【後援】 大分県歯科医師会



会場は駐車スペースに限りがありますので、大分駅等の公共駐車場のご利用をお願いします